

一般質問

7 議員が

町政を問う

質問者（登壇順）	質問事項（通告順）	掲載ページ
戸塚 美穂	○障害福祉について	11
藤原 恵子	○B型肝炎ワクチンについて ○子どもの未来について ○中小企業対策について	12
北條 喜久男	○農政問題について ○少子高齢化対策について ○財政問題について	13
細川 恵一	○町政運営と来年度予算編成について ○国保・医療、介護問題について	14
細川 久	○新年度予算編成について ○有線放送事業廃止への対応について	15
及川 ひとみ	○防災対策について ○鳥獣被害対策について ○子どもの貧困対策について	16
鷹木 嘉孝	○町における道路管理について ○平成29年度事業取り組み方針について	17

※次ページからの一般質問の内容は、紙面の都合上、要約して掲載しています。

一般質問とは…

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて報告や説明を求め、疑問点を質すことを一般質問といいます。

紫波町議会では、1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。

質問方式は一問一答方式で行っていて、時間内であれば質問・答弁を回数制限なしで繰り返すことができます。

一般質問のようすはインターネットによる生中継のほか、録画中継も配信しています。
議会のホームページからお進みください。

紫波町議会 [検索](#)



支え合いに大切なものは

答 ひとに手を差し伸べられること

問 県が策定した「ひとにやさしいまちづくり推進指針」と町との連携は。

町長 この指針の要旨は、ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりやものづくりの推進である。障害者の社会参加が進むよう、

生活環境や社会環境の整備に取り組んでいく。

問 ユニバーサルデザインは施設整備だけではいけないのでは。

生活部長 これを進めるにはひとづくりからと言われている。意識啓発や学ぶ機会などを通じて人材育成が大事で

ある。

問 障害に対する社会的な理解を浸透させるための方策は。

町長 財政的基盤を支える側の理解がないと進まない。広報やイベントなどを通じ、ノーマライゼーションの輪を広げていく。

問 「障害者」の表記や呼称によるマイナスのイメージを取り払うことも大事ではないか。

生活部長 当事者と話し合いを進め、一方的にならないようにしていきたい。

問 災害時に支援が必要な人に対する防災対策は。

町長 「避難行動要支援者名簿」を関係機関に配布している。自主防災組織も増加しており、助け合いの輪が全域に広がるよう、引き続き呼びかけていく。

問 支援が必要な人は、環境を変えることが難しく避難所を利用しにくい。施設整備は

教育長 ファミリーサポートセンター事業を構築する上で、参考にしていきたい。

町長 となりの困っているひとに手を差し伸べることで、心構えを育てていきたい。



勝利を目指して

ふれあいフェスタで交流

とづかみほ
戸塚美穂 議員